3 使いかた

使用上の注意について説明しています。

使用上の注意

⚠注意
- **本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
- **本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にUSBケーブル、IEEE1394ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチをOFFにしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。**
- **パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。**

● MacOS X 10.0.4以降をご使用の方は、本製品を使用する前に必ずフォーマット（初期化）してください。【P25】

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでも、ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P18、20「本製品の取り外しかた」】

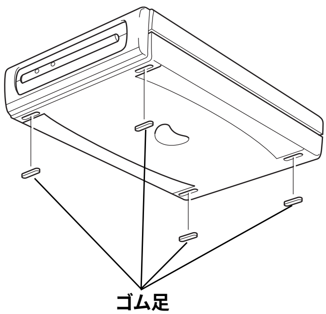
⚠注意 **ハードディスクにアクセスしているとき（アクセスランプが点灯しているとき）は、絶対にケーブルを抜かないでください。ハードディスク内のデータが破損するおそれがあります。**

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

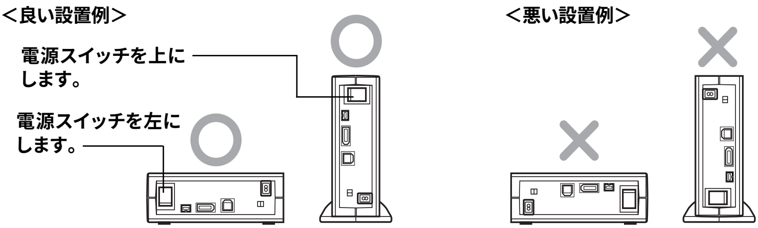
● 本製品からOSを起動することはできません。

● 本製品を横置きにする場合
付属のゴム足（4個）を本製品の底面のくぼみに貼り付けてください。
ゴム足には両面テープが付いています。

⚠注意
- **右図のとおりにゴム足を取り付けてください。**
- **本製品を積み重ねないでください。**



● 本製品は次のように設置してください（図は背面から見たところです）。



⚠注意 **動作中に本製品を移動させたり、設置方向を変えないでください。本製品の破損の原因となります。**

次のページへ続く

● 本製品に保存できる1ファイルの最大容量は4GBです。
本製品はFAT32形式でフォーマットされているため、1ファイルの最大容量が4GBとなります。WindowsXP/2000やMacOSをお使いの場合には、NTFS形式やMacOS拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット(初期化)すれば1ファイルが4GB以上のファイルでも保存できるようになります。

● WindowsMe/98SE/98付属のドライブスペース3は使用しないでください。
パソコンの動作が不安定になるおそれがあります。

● Macintoshでリカバリするときは、本製品を取り外してください。
取り外さないとリカバリできません。

●本製品に付属のDisk Drive TuneUp-SEをインストールすると、MacOS起動時に  アイコンが表示されることがあります。これは、パソコンにSCSI機器を1台も接続していないときに表示されるアイコンです。本製品の動作には問題ありません。

● 本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありあません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品動作時は布などをかぶせないようにしてください。また、PC連動AUTO電源機能を使用しているときは、電源がOFFの状態でも、待機電流のため少し温かくなります。

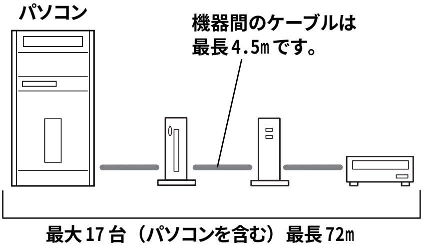
● 本製品の動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、異常ではありません。

IEEE1394機器の増設

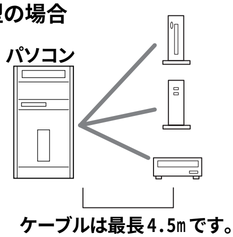
次の図のように接続してください。

⚠注意 ・本製品の電源を切ると、本製品以降に接続されている機器が使用できなくなります。
・本製品をUSBケーブルで接続した場合、IEEE1394機器を本製品に接続することはできません。

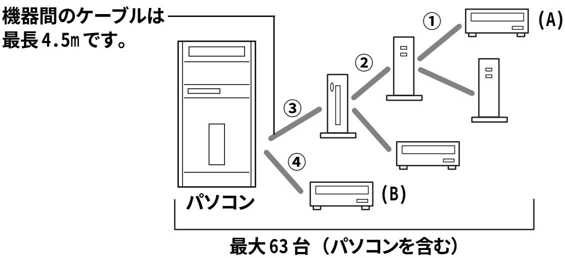
● デイジーチェーンの場合



● スター型の場合

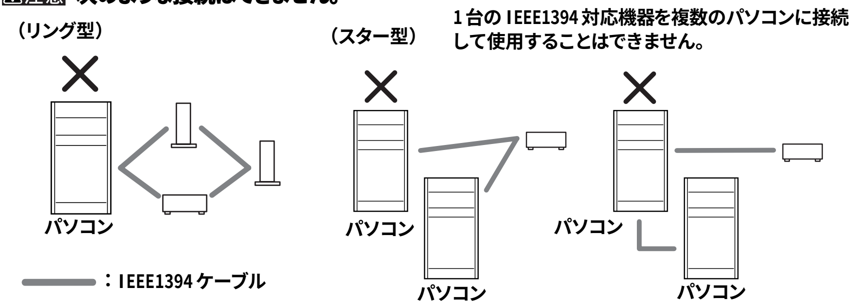


● ツリー型の場合



※終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大16本（16ホップ）です。
左図の例での終端は(A)と(B)となり、その間のケーブル数は①～④の4本（4ホップ）となります。

⚠注意 次のような接続はできません。



メモ Windows98SEの場合、新しくIEEE1394機器を接続したときに次の画面が表示されることがあります。その場合は、Windows98 Second Edition CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして［OK］をクリックしてください。IEEE1394ドライバがインストールされます。



「Windows98 Second Edition CD-ROM上の（中略）が見つかりませんでした。」と表示されたときは、［ファイルのコピー元］にE:\WIN98と入力し、［OK］をクリックします（下線部にはCD-ROMドライブのドライブ名を入力します）。

すでにIEEE1394ドライバがインストール済みのときは、以前インストールしたドライバを使用します。［はい］を数回クリックしてください。

3
使いかた

本製品の取り外しかた（USB接続時）

本製品をUSBケーブルで接続している場合、パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で取り外します。

メモ パソコンの電源スイッチがOFFのときには、そのまま取り外せます。

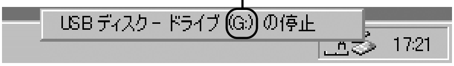
WindowsMe

⚠注意
- 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB ディスク-ドライブ(X:)の停止]をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。



本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。

Windows98SE/98

⚠注意
- 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2



[MELCO INC. USB-ATA/ATAPI Bridge Controllerを停止します。] をクリックします。

3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。

WindowsXP/2000

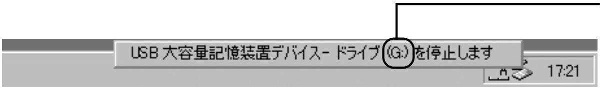
⚠注意 ・必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。また、本製品にNTFSでフォーマット【P31 「NTFS形式でのフォーマット（WindowsXP/2000のみ）」】したパーティションがあるかどうかによって、取り外しの手順は異なります。
・本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。
・以下の説明では、Windows2000の画面を使用しています。

NTFSでフォーマットしたパーティションがない場合

1 **タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン（WindowsXP）、（Windows2000）をクリックします。**

2 **メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置デバイス-ドライブ(X:)を停止します]をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。WindowsXPの場合は、メッセージが少し異なります。



本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

3 **「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。**

メモ WindowsXPの場合は、[OK]をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

NTFSでフォーマットしたパーティションがある場合

⚠注意 **パソコンの動作中に本製品を取り外すことはできません。**

1 **WindowsXP/2000を終了し、パソコンの電源をOFFにします。**

2 **本製品を取り外します。**

Macintosh

1 **本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにある本製品のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。**

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2 **本製品を取り外します。**

本製品の取り外しかた（IEEE1394接続時）

本製品をIEEE1394ケーブルで接続している場合、パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で取り外します。

メモ　パソコンの電源スイッチがOFFのときには、そのまま取り外せます。

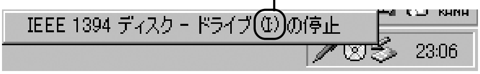
WindowsMe

注意
- 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2 メニューが表示されたら[IEEE1394ディスクドライブ(X:)の停止]をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。



本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。

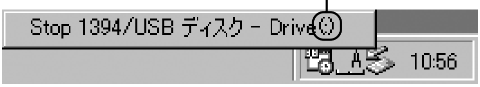
Windows98SE

注意
- 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2 メニューが表示されたら[Stop 1394/USBディスクードライブ(X:)]をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。



本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

次のページへ続く

3 **「 1394/USBディスク 'デバイスをコンピュータから取り外しても安全です。」と表示されたら、[OK]をクリックします。**

4 **本製品を取り外します。**

⚠注意 **IEEE1394機器（本製品を含む）は、必ず終端に接続したものから取り外してください。終端ではない機器を取り外すと、次の警告画面が表示されます。**



WindowsXP/2000

⚠注意
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。また、本製品にNTFSでフォーマット【P31 「NTFS形式でのフォーマット（WindowsXP/2000のみ）」】したパーティションがあるかどうかによって、取り外しの手順は異なります。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**
- **以下の説明では、Windows2000の画面を使用しています。**

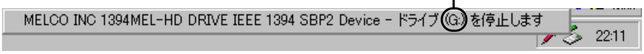
NTFSでフォーマットしたパーティションがない場合

1 **タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン (WIndowsXP)、(Windows2000)をクリックします。**

2 **メニューが表示されたら、[MELCO INC 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device-ドライブ(X:)を停止します]をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。
WindowsXPの場合は、メッセージが少し異なります。

本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。



3 **「取り外すことができます。」と表示されたら[OK]をクリックし、本製品を取り外します。**

メモ WindowsXPの場合は、[OK]をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

NTFSでフォーマットしたパーティションがある場合

⚠注意 **パソコンの動作中に本製品を取り外すことはできません。**

1 **WindowsXP/2000を終了し、パソコンの電源をOFFにします。**

2 **本製品を取り外します。**

3 使いかた

Macintosh

1　本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにある本製品のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

⚠注意　本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2　本製品を取り外します。